

総合型選抜入学試験

〈出典一覧〉

心 理	こども家庭庁	令和５年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 低年齢層調査 一部改変
ビジネス	日本経済新聞2023年２月1日	社説「地方分散の流れ取り戻そう」
会 フ	日本経済新聞2024年８月23日 門間一夫	「『望ましい円高』は訪れるのか」
日 文	入戸野宏	『「かわいい」のちから 実験で探るその心理』 DOJIN選書
歴 文	朝尾直弘	『日本の近世』１ 世界史のなかの近世 一部改変 中央公論社
福 祉	総務省統計局	「令和４年度就業構造基本調査（結果の概要）」令和５年７月21日
初 教	文部科学省	令和５年度「家庭教育支援推進のための調査研究（家庭教育についての保護者へのアンケート調査）事業」報告書 https://www.mext.go.jp/content/20240405-mxt_chisui02-000035187-2.pdf
安 全	国際連合食糧農業機関(FAO)	「世界の食料安全保障と栄養の現状 2020年報告」一部改変 日本語訳（公社）国際農林業協働協会 https://www.fao.org/3/ca9699ja/ca9699ja.pdf
会 フ	日本経済新聞電子版2024年６月23日	社説「女性の活躍阻む根本の改革が欠かせない」
環 境	環境省	令和３年度版 環境・循環型社会・生物多様性白書

食健康科学部 食安全マネジメント学科 小論文（800字）（60分）

国際連合食糧農業機関（FAO）によると、人間活動に起因する世界の温室効果ガス（Greenhouse Gas）総排出量のうち21～37%はフードシステムに由来する。そして、フードシステムから生じる温室効果ガス排出のうち、その大半を占めているのが、肉と乳製品に由来するものであると報告されている。例えば、肉用牛と乳用牛では消化管内発酵によるメタン排出量が多く、えさの生産・輸送において二酸化炭素が排出されるなど、温室効果ガス発生に及ぼす影響が大きいことが知られている。

以下に示す図は、2030年の世界における温室効果ガス排出による社会的コストが試算されており、現行の（肉と乳製品を中心とする）食料消費パターンを継続した場合、およそ1兆7,000億米ドルに達するものと示されている。温室効果ガス排出による社会的コストとは、温室効果ガスの排出によって将来もたらされる負の経済効果を貨幣価値として算出する尺度である（2020年時点での米国政府の算定結果によると、二酸化炭素排出量が1トン増えるごとに約50ドルと推計されている）。

図を見て、環境の持続可能性に配慮した植物ベースの4通りの食事パターンのいずれかを取り入れた場合の社会的コストに対する効果を説明してください。その説明をしながら、環境影響に配慮した食の選択や食料生産のあり方について、有効と考えられる方法と理由を具体的に800字以内で記述してください。

（注意：ここに示されている植物ベースの4通りの食事パターンは、環境の持続可能性に配慮した食事として効果を検証するために使われている。完全に植物性食品に置き換えることを推奨する目的はない。）

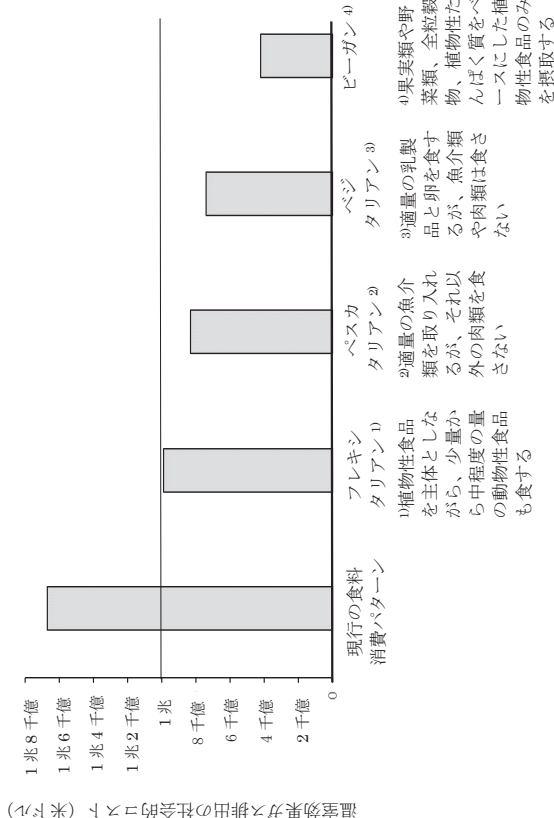


図 植物ベースの食事パターンに転換した場合の2030年の温室効果ガス排出による社会的コスト

出典：国際連合食糧農業機関（FAO）「世界の食料安全保障と栄養の現状 2020年報告」一部改変
日本語訳（公社）国際農林業協働協会 <https://www.fao.org/3/ca9699ja/ca9699ja.pdf>